

(図中の文字)

一白に擬ふ

元祖が象引の白眼

二黒に擬ふ

二代目が大伴の黒主

三碧になぞらふ

三代目が鳴戸の渦丸

四緑に擬ふ

四代目が景清の隠刀

五黄に擬ふ

五代目が圀橋の

石公

六白になぞらふ

六代目が白酒の

新平

七赤に

なぞらふ

七代目が南山の鍾馗

八白に擬ふ

八代目が白浪の

主魁

九紫に擬ふ

九代目が

助六の

鉢巻

(末尾の略伝)

市川家略伝 山田春塘記

元祖 万治三年出生幼名海老蔵十四才にて俳優となり
市川段十郎と称し後ち團十郎と改む元禄六年上京し椎が本才麿の
門に入り俳名を才牛といふ是役者俳名の始めなり宝永元年二月十五日非命に終る
年四十二

二世 元祖の実子幼名九蔵二代目を相続し俳名三升
後ち海老蔵と改め俳名を柏莖といふ宝暦八年九月終る年七十一
三世 二代目の養子幼名徳弁後升五郎三代目を相続す
寛保二年二月終る年二十二
四世 二代目の実子元祖松本幸四郎の養子と成り幼名
松本七蔵。五粒。海丸二代目幸四郎を相続して後実家に
戻り四代目團十郎三升といふ安永七年二月終る年六十九
五世 四代目の実子幼名梅丸。松本幸蔵三代目幸四郎と成り又
五代目を相続後鰈蔵白猿狂名を花路のつらねといひ
通称を成田屋七左衛門といふ文化三年十月終る年六十六
六世 五代目の実子幼名徳蔵。海老蔵後六代目を相続し
三升人呼で小玉といふ寛政十一年五月終る年二十二
七世 五代目の分縁幼名新之助。海老蔵後七代目を相続夜雨庵
三升後海老蔵白猿と改む安政六年三月終る六十九
八世 七代目の実子幼名團栗。新之助。海老蔵天保三年八代目相続
嘉永七年八月大坂にて自害年三十二
九世 八代目の舎弟河原崎の養子と成り長十郎。権十郎。権之助。俳名紫扇
又三升後九代目を相続す天保九年十一月の出生なり